

教科	公民科	単位数	2単位	学科		学年/学級	
----	-----	-----	-----	----	--	-------	--

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。 ・資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 ・現実社会の複雑な課題を把握し、説明するとともに、構想する力、議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 ・現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・公民として自国を愛し、平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めさせる。
使用教科書／教材	政経704 高等学校 政治・経済

科目の評価の観点

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、基礎的基本的な知識を身につけ、理解を深めている。 ・諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

●学習の計画と評価の方法

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
4月	第1編	5	第1章 現代政治のしくみと日本		
			1 政治とはなにか	<ul style="list-style-type: none"> ・法は社会規範の一つであり、国家による強制を伴う点で道徳や慣習とは異なることを理解する。 ・法は個人や集団の権利を擁護すると共に社会の秩序を維持する機能を有していることを理解する。 ・世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】 ・【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
			2 法とはなにか		
			テーマ 権利と義務を考える		
			3 現代民主政治へのあゆみと基本原理		
			4 議会制民主主義と世界の政治体制		
	現代日本の政治・経済		5 日本国憲法の成立と基本原理	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法は基本的人権の尊重、国民主権を基本原則とする点で国民国家の枠を超えた普遍性を持っていることを理解する。 ・日本国憲法は民主政治の諸原理と深い関係があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】 ・【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
			テーマ 憲法改正を考える		

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
5月	第1編 現代日本の政治・経済	6	6 基本的人権と新しい人権	<ul style="list-style-type: none">・日本国憲法が保障している基本的人権の確立の歴史的背景、経緯、政治制度との関連について考察する。・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解する。・自由権的基本権について、議会制や権力分立制との関連を理解する。・平等権について、多様性を理解し差別をなくすことに主体的に取り組む態度を身につける。	<ul style="list-style-type: none">・【態度】【思判表】・【知技】ワークシート・【思判表】【知技】資料読解、定期考査・【知技】レポート
			テーマ SDGsからみる日本のジェンダー平等	<ul style="list-style-type: none">・参政権について、国民の政治参加のための制度との関連を理解する。・社会権的基本権について、近代から現代にかけての政府の機能の変化の過程で登場してきたものであることを理解する。・教育、労働、福祉に関わる社会制度の整備と社会権的基本権の関連を理解する。・社会の変化に応じて求められる新しい人権について理解する。	
6月		8	7 平和主義と安全保障	<ul style="list-style-type: none">・平和と安全の確保が、人類の福祉を実現する上で欠くことのできないものであることを理解する。・日本国憲法の平和主義を理解するとともに、日本の安全保障と防衛について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none">・【態度】【思判表】・【知技】ワークシート・【思判表】【知技】資料読解、定期考査・【知技】レポート
			8 日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none">・政治機構については、中学校社会科公民的分野の学習の成果を前提に理解を深める。・国民主権、議会制民主主義、権力分立、議院内閣制、違憲審査制の概念や政治理論の理解を深める。・日本の統治機構や政治制度の特徴を理解し課題を考える。・議会制民主主義が権力分立制のもと、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを理解する。・国民の権利を守り社会の秩序を維持するために法に基づく公正な裁判の保障と司法権の独立があることを理解する。・裁判員裁判について理解を深める。・行政府の拡大と官僚制の弊害について考察する。	<ul style="list-style-type: none">・【態度】【思判表】・【知技】ワークシート・【思判表】【知技】資料読解、定期考査・【知技】レポート
			テーマ 行政の民主化を考える		
			9 政党政治と選挙制度	<ul style="list-style-type: none">・マスメディアが国民世論の形成に果たす役割が大きくなってきたこと、特定の政治的思考を持たない人が増加したり、政治的無関心の広がりが見られたりするようになったことに気付く。・国民の政治参加が政策決定及ぼす影響や主権者としての政治参加の在り方について考察する。・民主主義は多数者の意思に基づく政治を基本とするが、少数者の権利や意見の尊重が必要であることに気付く。	<ul style="list-style-type: none">・【知技】定期テスト、新聞記事等からの読み取り・【態度】【思判表】ワークシート、テレビ番組など
			10 地方自治	<ul style="list-style-type: none">・地方自治は住民自治と団体自治の下で行われ、民主政治の基盤をなすものであることを理解する。・地方自治の政治制度の特徴は二元性と直接民主制の考え方が国政よりも多く取り入れられていることを理解する。	<ul style="list-style-type: none">・【態度】【思判表】・【知技】ワークシート・【思判表】【知技】資料読解、定期考査・【知技】レポート

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
7月	第1編	7	第2章 現代経済のしくみと日本		
			テーマ 経済とはなにか	・分業と交換に基づき、生産や消費について、どのような社会でも経済的選択の問題を解決しなければならないことを理解する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
			1 経済活動と経済主体	・経済問題の解決の方法の違いによって市場経済や計画経済があることを理解する。 ・家計、企業、政府が現代の経済における主要な経済主体であり、これら経済主体間の相互関係が国民経済を構成していることを理解する。	
			2 市場経済の機能と限界	・市場の競争性が維持されている場合でも公共財の提供がされにくいことや環境破壊など市場の失敗があることを理解する。	
			テーマ 経済体制の変容と経済思想	・消費者についての問題としては、情報の非対称性の観点から家計・企業・政府間の情報格差について理解する。	
			3 国民経済と景気変動	・インフレは国民の所得や富の格差を拡大すること、デフレは景気後退や不況と結びついて国民生活に影響を与えることを理解する。	
9月	第1編	7	4 物価とその変動	・経済成長と景気変動を図る様々な指標の特色を理解する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【知技】レポート
			5 金融のしくみとはたらき	・金融とは経済主体間の資金の融通であることを理解する。 ・資金の需給は金融市場における金利の変化や株式市場と債券市場の動向によって調節されることを理解する。 ・金融市場における金利の動向が消費や貯蓄、投資行動に影響したり物価や株価、景気の変動に大きな役割を果たしていることを理解する。	
			6 財政のしくみとはたらき	・金融業務の自由化や金利の自由化に伴う金融に関する経済環境の変化による国民経済や家計や企業に向けての影響について理解する。 ・現代経済における有効需要政策の意味と役割及びその問題点について理解する。 ・金融に関する技術変革について理解し、これからの社会に及ぼす影響を考える。 ・財政政策は、投入された費用に対してそれから得られた効果を比較しながら最適な政策を選択していく必要があることを理解させる。 ・財政を国家財政と地方財政の双方から把握し、両者の役割分担や連携の在り方について考える。 ・望ましい財政の在り方を考える。	
10月	第1編	8	7 日本経済のあゆみ	・復興期と高度経済成長期の日本経済の特徴について理解する。 ・石油危機とバブル経済期の日本経済の特徴について理解する。 ・バブル崩壊と失われた20年の日本経済の特徴について理解する。 ・21世紀の日本経済の特徴を理解し課題を考える。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
			8 企業の活動と役割	・企業は、提供された生産要素を結合して生産活動を行うことを理解する。 ・日本の労使関係の特色や、勤労の権利と義務、労働基本権の保障、労働条件の改善、労働組合の役割について理解する。 ・中小企業にはベンチャー企業のように経	

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
			9 労働問題と労働環境の変化	<p>済的に大きな役割を果たしているものがある一方で、下請けとして大企業との間には是正すべき格差社会が存在しているということを理解する。</p>	

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
11月	第1編 現代日本の政治・経済	8	10 社会保障制度の充実	・医療や年金といった社会保障費の財政負担が大きな問題となっていることを日本の社会保障制度の歩みや特色とともに理解する。 ・農業問題としては、日本の食料自給率が他の先進国とくらべて低く、日本の農業の体質強化が課題とされていることを理解する。 ・市場経済においては市場の失敗として環境破壊があることを外部不経済の視点から理解する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
			11 農業と食料問題		
			テーマ 環境をめぐる問題		
			第3章 現代日本の諸課題		
		1 地域社会の自立と中央政府の役割とはなにか？	・地域社会の特徴と課題を理解し、課題解決に向けて地域社会が取り組むべきことと中央政府が果たすべき役割を考察し政策を提言する。 ・社会保障制度の特徴と課題を理解し、課題解決に向けた政策を提言する。 ・雇用の変化や労働時間の変化ワークライフバランスについての特徴と課題を理解し、課題解決に向けた政策を提言する。 ・安全で安心な社会を阻む要因を考察し、望ましい社会の在り方を考察し、望ましい社会の建設に向けた政策を提言する。 ・財政の特徴と課題を理解し、持続可能な財政の実現に向けた政策を提言する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート	
		2 持続可能な社会保障制度は実現できるか？			
		3 多様な働き方ができる社会とはどのような社会か？			
		4 安全・安心な社会を実現するには？			
		5 歳入・歳出両面での財政健全化とは？			

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
12月	第2編 現代の国際政治・経済	5	第1章 現代の国際社会と政治		
			1 国際社会の成立と国際法	・ウェストファリア・システムを理解する。 ・国際法の基本的なしくみについて理解する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
			2 国際連合と国際協力	・国際法に関しては統一的な立法機関はなく、国際司法裁判所にも強制力が十分には機能しないことを理解する。	
			3 国際社会の変遷と動向	・国際連合をはじめとした国際機構の意義や役割を理解する。あわせて、NGOや多国籍企業が国際政治に影響を与えていることも理解する。	
			4 国際紛争と軍備管理	・国際政治の動向として、冷戦後の動向について理解する。 ・日本の安全保障と防衛について理解を深める。	
テーマ 国際社会と日本外交		・国家間の対立を解消するためには調整し協調することが必要であることを理解する。			
1月		5	第2章 現代の国際社会と経済		
			1 国際経済のしくみ	・比較優位の考え方について理解させ、自由貿易論と保護貿易論とを対比させながら、現代の貿易問題と関連させて理解する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート
		2 国際収支と為替	・対外経済取引に伴い通貨間の売買が必要になることを理解する。その際、自国通貨と外国通貨の需給関係から為替レートが決まる変動相場制が採用されており、財やサービス、資本の出入りや物価水準、金利差など様々な要因が相場に影響を与えていることを理解する。		
		6	3 国際協調と国際経済機関の役割	・国際収支統計の基本的な構成と、日本の対外経済取引の現状について理解する。 ・世界貿易機関や国際通貨基金などの国際経済機関が果たす役割や課題について理解する。	
4 グローバル化と国際経済			・持続可能な社会を形成するための政策について理解する。 ・新興工業国経済について特徴課題について理解する。		
2月			テーマ 国際経済における日本の役割	・国際経済の安定のために日本が果たすべき役割にはどのようなものがあるのかを考察する。	
		3	第3章 国際社会の諸課題		
1 グローバル化する世界のリスクとはなにか？			・今日の国際社会の課題は、従来の政治や経済の枠組みをこえたものが多く、しかも複雑化していることを理解した上で、リスクある社会について探究する。 ・難民問題の現状を理解し、難民問題発生の原因を考え、原因を除去するために必要な政策を提言することを通して難民問題の解決策を探究する。	・【態度】【思判表】 【知技】ワークシート ・【思判表】【知技】 資料読解、定期考査 ・【知技】レポート	
2 難民問題に解決策はあるか？			・国際経済格差の是正について、先進国や国際機関による経済援助を中心とする考え方と発展途上国の自助努力を中心とする考え方を対照させて、発展途上国の経済的な自立と持続可能な発展と先進国の協力のあり方について探究する。		
3 国際経済格差の是正に国際社会はどう取り組むか？			・イノベーションがこれまで社会をどのように変化させてきたかを理解し、現在直面している世界の変化をどのようなイノベーションがどのような方向に向かわせるかを考え、これからの私たちの生き方やあり方を探究する。		
4 技術革新は世界をどう変えたか？			・気候変動に対して私たちが取り組んでき		

月	編	時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
			5 地球環境を守る資源・エネルギー開発とは？	・気候変動に対して私たちが取り組んできた活動を理解し、再生エネルギーやクリーンエネルギーの特徴からSDGsにかなう資源・エネルギー開発について探究する。	